



読字 原田 鏡

No. 760

2015/ 3/15

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒113-0033 東京都文京区
西目黒1-1-1807201室

日中友好協会
岡山支部
〒703-8256
岡山市東区3-8-30 514
TEL:086(272)-3016
郵便番号1100
01250-04-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8911
倉敷市遊島中央1-8-4 (宮地方)
TEL/FAX:086(446)-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.biz/>
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



侵略の実相を浮き彫りにする

「DVD「泥にまみれた靴で」を

普及しよう！」

安倍首相は、8月に戦後70年談話を発表します。

その内容については、村山談話(戦後50年談話)を全体としては、引き継ぐ」といいながら、一番の核心的な部分(植民地支配と侵略・痛切な反省)について、文言にこだわらない」と発言しています。

この発言は、70年の歳月が経過し、戦争体験者、とりわけ加害体験者が、亡くなったり、高齢化し、日本の過去の侵略戦争を肯定、美化する動きが強まる中で出されたものです。

戦後70年を迎え、日中不戦の運動を進めてきた日中友好協会岡山支部は、この発言を許すわけにはいきません。

DVD「泥にまみれた靴で」は、侵略戦争に参加した兵士たちが、自らの加害体験を語ったもので、侵略戦争の

実相を浮き彫りにしていません。

この証言DVDは、時間も約26分と短く、少人数で視聴できるなど次世代へ継承する上で貴重な教材となると思います。

現在県内では、日中岡山支部、岡山宗教者九条の会、高梁九条の会、人権連が購入しています。平和書房で販売しています。(税込・送料別 3150円)

今後もっと多くの団体・個人が購入し、普及していくことを願っています。

このDVDが各地で視聴され、侵略戦争の実相が明らかになれば、戦後70年談話」が、侵略戦争の肯定・美化を許さない正しい歴史認識にそつたものにする力になると思います。日中友好協会岡山支部も普及活動に、全力で取り組んでいきたい。

STOP!! 「戦争」 —映画「ひまわり」上映&青井未帆さん講演—

“どういふ日本にしたいのか、子や孫に語りつないでいこう”



2月28日(土)午後1時から岡山県総合福祉会館で開催されました。呼びかけは弁護士9条の会、それに答えた多くの9条の会が集まって実行委員会をつくり、開催したものです。私たちの日中岡山九条の会もその実行委員会に参加しました。

当日、約150人の参加により、まず映画「ひまわり」が上映されました。今注目の沖縄でおきた2度の米軍機墜落事件をもとに平和とは何かを、どのように子どもたちに語り継いでいけばいいのかを考えさせる作品でした。

続いて学習院大学大学院法務研究科教授の青井未帆さんによる講演です。

彼女は1973年生まれ若手憲法学者です。父方の祖父が長崎で被爆されたそうで、その体験を聞いた彼女が、今度は自分の子どもたちにそれを語る役割を担う時に、それを伝えることの難しさを痛感したという話などから、世代を超えて言葉や映像などで戦争体験を伝えていくことの重要性を感じていると話されました。

レジメにはヴァイツェッカー大統領の有名な演説 過去に目を閉ざす者は結局のところ現在にも盲目となります」という文章を載せていらっしやいました。

“国家が、残虐性を持つているわけではない。残虐行為を行うのは人間である。国家の名において平凡な人間が残虐行為を行う。抽象的な概念に置き換えることによって、人間の責任ではなくなっている。日本では戦争責任を追究してこなかった結果、戦争だから仕方がなかったのだという考えから、人々が分断されてきた。そして分断された人々が今、取り込まれていつている。

積極的平和主義「安保環境の変化」我が国の存立などという法律用語ではない、あいまいな概念を利用して、分断された人々を取り込んでいつている。

以下は国家秘密である。これを漏らしたものは、10年以下の懲役に処される

アベノことば笑辞典 (解説付き)

- 集団的自衛権行使
 - *アメリカの言う通りにすること
- 国家安全保障政策
 - *戦争に近づく政策の体系
- 切れ目のない安全保障政策
 - *知らぬ間に戦争する抜け目ない策謀



(つづく)

私の専門である公法学は、国家権力をどのようにコントロールしようかという学問で、憲法や国際法などが誕生してからの新しい学問です。

日本国憲法は国家権力を縛るものであって、国民を縛るものではない。その憲法が危うい状態に追い込まれている今、私たちに何ができるのか、それは、どういふ日本にしたいのか、子や孫に語りつないでいくことではないか。

(真田)

第26期中国語講座 受講生と講師のつどいが開催されました

3月8日、日曜日、午後2時から岡輝公民館で、第26期中国語講座受講生と講師のつどいが開催されました。

当日、参加者は、竹内理事長、小林事務局長、南京からの留学生銭敏俊さんをもなつて曾田理事、土曜日クラスの講師張燃さん、土曜日クラスの三宅さん田中さんと私(真田)の8人でした。

この3月で、張老師が就職が決まったため講師ができません。この3月で、張老師が就職が決まったため講師ができません。

説明され、後の予定があり、退出されました。その後を受けて土曜日クラスの講師として銭敏俊さんにお願

いしたい旨、依頼しましたところ、こちらも就職がはつきりしないというこ

とで、決まりませんでした。しかし、私

がだめな場合、友人の女性の留学生を責任を持

つて紹介します、とおっしゃってくださいました。

そのほかのクラスを担当している李紫娟さんは都合がつかず欠席でしたが、事前にメールで担当クラスの状況を報告していただいております。

体調不良などいろいろな理由で今期を限りに辞められる方が多く、今までのクラスを維持するのが大変ですが、まだ継続して中国語を学びたい方もいらつしやいます。この要望にお応えするべく、上級クラスを3人で、もう一つ中級クラスを3人で始めました。これから受講生の方々と連絡を取り合つて、調整していくことになりました。



中国帰国者問題 写真と資料展

今年も福祉援護課の協力のもと、岡山市役所ロビーで「中国帰国者問題」写真と資料展を開催します。2008年4月に第1回目を開催し、今年で8回目となります。凍てつく大地に取り残され、苦難の人生を歩んできた残留日本人孤児及び残留婦人とその家族。祖国日本へ帰国が始まって34年、いま彼らはどのように暮らしているのか。今回は「中国残留日本人孤児」の歴史と「中国帰国者の日本語教室」10年の歩みと現状などの写真と資料を中心に展示します。また、中国残留邦人支援法が改正されて7年が経過した「いま」の中国帰国者の実情を伝えることができればと思つて企画しました。多数の皆さんのご観覧をお願いいたします。

と き：4月21日(火)～23日(木)
ところ：岡山市役所1階ロビー
じかん：4月21日(火) 10:00～17:00
22日(水) 9:00～17:00
23日(木) 9:00～16:00

【展示内容】

- 1、「中国残留日本人孤児及び残留婦人の二世・三世」のあゆみ
(龍爪開拓団の今岡泰子さん・今岡寛・愛子さんの人生)
- 2、中国帰国者の日本語教室の10年の歩みと現状
- 3、「中国帰国者との交流会」
- 4、映画「望郷の鐘～満蒙開拓団の落日～」上映活動

主催：日中友好協会岡山支部

いい本、よんでみよう

①内藤正典 『イスラム戦争、中東崩壊と欧米の敗北』 間違ったらけの中東政策

②柳澤協二 『中国の集団的自衛権』 元防衛官僚が、安保政策を徹底批判!

(集英社新書 760円+税)

第五章 集団的自衛権は損か
第六章 世界の中でどう生きるか 一今日の「護憲」の意味

(集英社新書700円+税)

(竹)

序章 中東で起きていること

第一章 十六億人のイスラムを味方にするか、敵に回すか

第二章 間違いだらけのイスラム報道

第三章 イスラム世界の墮落とイスラム国の衝撃

第四章 日本人にとってのイスラム

序章 集団的自衛権の視点

第一章 集団的自衛権と日米ガイドライン改定の行方

第二章 七月一日閣議決定のおかしさ

第三章 バラ色の集団的自衛権

第四章 国際情勢はどう変わったか

次回の新聞送付作業は3月23日(月)1時半から民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

石川 小林 和
小真 田内 和
竹内 竹内 和
坪井